

戦略的な研究開発分野の推進

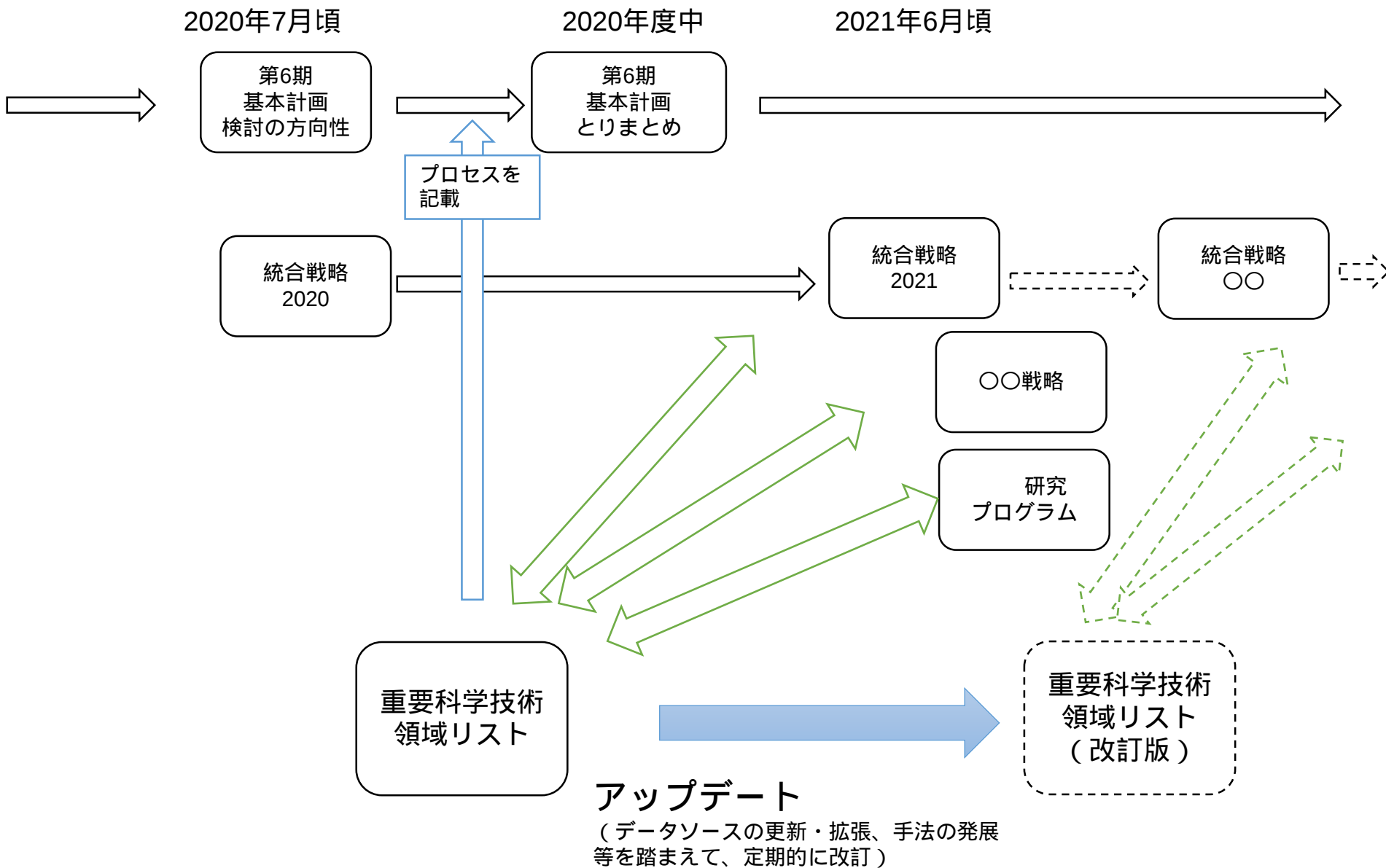
< 参考資料 >



令和2年11月26日

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)

基本計画、統合戦略、分野別戦略、重要科学技術領域等のスケジュール



ホライゾン・ヨーロッパ：第9次中期研究開発プログラム（2021～2027年）

第一の柱（フロンティア
研究支援）
「卓越した科学」
258億EUR

第二の柱（社会的課題の解決）
「グローバルチャレンジ・欧州の産業競争力」

527億EUR

第三の柱（市場創出の支援）
「イノベティブ・ヨーロッパ」

135億EUR

6つの社会的課題群

- ・健康
- ・文化、創造性、包摂的な社会
- ・社会のための市民の安全
- ・デジタル、産業、宇宙
- ・気候、エネルギー、モビリティ
- ・食料、生物経済、資源、農業、環境

参加拡大と欧州研究圏（ERA）強化

21億EUR

合計 941億EUR

注：各柱およびプログラム名称は2019年4月時点の合意内容、予算額は2018年6月の欧州委員会による提案内容を記載

将来に向けた重要科学技術「ラジカル・イノベーション・ブレークスルー100」

将来に向けグローバルな価値創造に大きな影響を及ぼし、社会的ニーズに重要な解決策を示す可能性のある、100のラジカル・イノベーション・ブレークスルー(RIBs)をリストアップ。

AI&ロボット、 ヒューマンマシンインターフェース&バイオミメティクス、 エレクトロニクス&コンピューティング、 バイオハイブリッド、 バイオメディシン、 プリンティング&マテリアルズ、 プレーキング・リソース・バウンダリー、 エネルギー、（その他）社会イノベーション

(参考) EU 将来に向けた重要科学技術「ラジカル・イノベーション・ブレイクスルー (RIBs) 100」

RIB(グループ)/RSB	ラジカル・イノベーション・ブレイクスルー100 (Radical Innovation Breakthroughs)
1 AI&ロボット	拡張現実(AR)、自動化屋内農業、ブロックチェーン、チャットボット、コンピューショナル・クリエイティビティ、ドライバーレス、外骨格、ハイパースペクトルイメージング、音声認識、群知能、軍用無人偵察機、人工知能、ホログラム、ヒューマノイド、創造性と想像力の神経科学、精密農業、ソフトロボット、タッチレスジェスチャ認識、フライングカー
2 ヒューマンマシンインターフェース&バイオメテックス	ニューロモルフィックチップ、バイオニクス、脳機能マッピング、ブレインマシンインターフェース(BMI)、感情認識、スマートタトゥー、人工シナプス/脳
3 エレクトロニクス&コンピューティング	フレキシブルエレクトロニクス、ナノLED、カーボンナノチューブ、演算メモリ、グラフェントランジスタ、高精度時計、ナノワイヤー、オプトエレクトロニクス、量子コンピュータ、量子暗号、スピントロニクス
4 バイオハイブリッド	生分解性センサ、ラボオンチップ、分子認識、バイオエレクトロニクス、バイオインフォマティクス、植物コミュニケーション
5 バイオメディシン	ゲノム編集、遺伝子治療、抗生物質感受性試験、バイオプリンティング、遺伝子発現制御、ドラッグデリバリー、エピジェネティック改変技術、ゲノムワクチン、マイクロバイオーム、再生医療、再プログラム化ヒト細胞、細胞死経路のターゲティング
6 プリンティング&マテリアルズ	2D マテリアル、3D フードプリンティング、ガラス用 3D プリンティング、大型構造物用 3D プリンティング、4D プリンティング、ハイドロゲル、メタマテリアル、自己修復材料
7 プレイキング・リソース・パウンダリー	バイオプラスチック、炭素回収・隔離、淡水化、地球工学・気候工学、ハイパーループ、プラスチックを食べる虫、CO ₂ 分離、防災技術、水中生活、廃水栄養素回収、小惑星探索
8 エネルギー	バイオルミネッセンス、エネルギーハーベスティング、メタンハイドレート収穫、水素燃料、海洋・潮力発電技術、微生物燃料電池、熔融塩リアクタ、スマートウィンド、熱電塗料、水分解、空中風力タービン、アルミニウム系エネルギー、人工光合成
*社会的 RIB; Radical Social Innovation Breakthroughs(RSB)	共同イノベーションスペース、ゲーミフィケーション、アクセス/コモンズ経済、リード/ライトカルチャー、教育の再発明、ボディ 2.0 と自己数量化、セルフカーフリーシティ、新しいジャーナリストネットワーク、ローカルフードサークル、健康データの所有と共有、代替通貨、ベーシックインカム、ライフキャッシング

欧州が強い	ニューロモルフィックチップ、バイオエレクトロニクス、創造性と想像力の神経科学、アルミニウム系エネルギー、植物コミュニケーション、空中風力タービン、スピントロニクス、人工光合成
欧州の競争力が不明確または弱い	4D プリンティング、小惑星探索、熱電塗料、人工シナプス/脳、フライングカー

出典：「EUが将来に向けた重要科学技術「ラジカル・イノベーション・ブレイクスルー100」を公表」 蒲生秀典（科学技術・学術政策研究所（NISTEP））
<https://stfc.nistep.go.jp/horizon2030/index.php/ja/weekly-weekly-signals/EU100RIBs>

戦略的な研究開発分野のマッピング（海外）

	基盤科学技術				社会課題対応					その他 備考
	AI	テクノロジー バイオ	量子技術	マテリアル	安全安心	エネルギー 環境	健康・医療	宇宙	農林水産業 食料・	
EU / Horizon Europe	●				●	●	●	●	●	資源、モビリティ
米 / NSF 10 big ideas	●	●	●				●	●		人間と技術のフロンティア
英 / 産業戦略：将来に適応するための英国の建設	●					●	●			未来の輸送手段
独 / ハイテク戦略	●	●	●	●	●	●	●	●		輸送、3Dプリント、軽量化、計測技術、画像技術、バイオインフォマティクス
仏 / SNR France Europe 2020					●	●	●	●	●	資源管理および気候変動への対応、持続可能な輸送と都市システム、情報通信社会
中 / 国家中長期科学技術発展計画綱要				●	●	●	●	●		情報通信、ナノテク、ものづくり技術、社会基盤、国防
韓 / 第4次科学技術基本計画	●	●				●	●		●	資源、気象、機械・製造

戦略的な研究開発分野の比較（海外の長期計画・戦略）

計画・戦略	EU Horizon Europe	米 NSF 10 big ideas	英 産業戦略：将来に適応するための英国の建設	独 ハイテク戦略
期間	2021年～2027年		2017年11月発表～2030年	2006年8月発表（第一期）
設定の考え方	・「第2の柱 社会的課題の解決」において、6つの社会課題群を設定	・NSFの2019年度事業の目玉 ・4つのプロセス・アイデアと6つの研究アイデアより構成	・2030年までに英国を世界最大のイノベーション国家にするため、生産能力向上などの長期構想を示す ・4つの「グランド・チャレンジ」、5つの基盤を設定	・公的資金を効率的に利用する ・知識の創出や湯汲により雇用や経済成長を促進 ・2014年の第三期以降、イノベーション重視
設定された分野等	社会課題群 健康 文化、創造性、包摂的社会 社会のための市民の安全 デジタル、産業、宇宙 気候、エネルギー、モビリティ 食料、生物経済、資源、農業、環境	プロセス・アイデア NSFにおけるコンバージェンス研究の拡大 NSF INCLUDES（理数教育を通じたダイバーシティの拡大） 中規模研究インフラ NSF2026（斬新なアイデアの長期支援） 研究アイデア データ革命 人間と技術のフロンティア 生命法則理解 量子飛躍 宇宙の窓 北極	グランド・チャレンジ AIとデータ 高齢化社会 クリーン成長 未来の輸送手段 基盤 アイデア 人材 インフラ ビジネス環境 地域	ハイテク戦略2025（第四期）の社会的課題 持続性、エネルギー、環境保護：次世代への責任 経済4.0/労働4.0：強い経済と最適な働き方 健康と介護：自発的で自己決定可能な生活を送る 輸送：スマートでクリーンな輸送の実現 安全：オープンで自由な社会のために 都市と地方：質の高い生活と未来の地方創生 重点技術領域 ～社会的実装や 応用を見据えた研究～ 機械学習、ビッグデータ サイバーセキュリティ、HMI、ロボット、VR 通信システム、5G通信技術 電池、3Dプリント、軽量化、製造技術 ～世界トップへ飛躍させるべき技術～ 量子シミュレーションシステム、超精密計測技術、画像化技術 バイオテクノロジー、バイオインフォマティクス 航空宇宙衛星、材料

戦略的な研究開発分野の比較（海外の長期計画・戦略）

計画・戦略	仏 SNR France Europe 2020	中 国家中長期科学技術発展計画綱要	韓 第4次科学技術基本計画
期間	2015年3月公表 ～2020年	2006年～2020年	2018年～2022年
設定の考え方	・ France Europe 2020を洗練 ・ 10の社会課題と5のテーマ別計画に基づいて方向性を示す	・ 中国を2020年までに世界トップレベルの科学技術力を持つイノベーション国家とする ・ 研究開発投資の拡充、重点分野の強化で実現	・ ビジョン：科学技術で国民の生活の質を高め人類社会発展に寄与 ・ 4大戦略を設定 ・ この計画の基盤は重点科学技術の開発と人材育成
設定された分野等	10の社会的課題 資源管理および気候変動への対応 クリーンで安全で効率的なエネルギー産業の復興 健康と社会的福祉 食料安全保障と人口変動 持続可能な輸送と都市システム 情報通信社会 革新的、包括的かつ適応力のある社会 欧州のための宇宙・航空 欧州市民社会の自由と安全	重点領域 ライフサイエンス 情報通信 環境 ナノテクノロジー・材料 エネルギー ものづくり技術 社会基盤 フロンティア（航空、宇宙、海洋） 国防	4大戦略 未来の挑戦のための科学技術力の拡充 革新が活発に行われる科学技術の生態系づくり 科学技術がリードする新産業・雇用創出 科学技術で誰もが幸せな生活を実現 重点科学技術例 エネルギー・資源 環境・気象 農林水産・食品 生命・医療 ICT・SW 機械・製造

戦略的な研究開発分野の比較（これまでの科学技術基本計画）

計画・戦略	第5期	第4期	第3期	第2期
期間	FY2016-2020	FY2011-2015	FY2006-2010	FY2001-2005
設定の考え方	第2章(3)「超スマート社会」における競争力向上と基盤技術の強化及び第3章 経済・社会的課題への対応として設定	「分野別」から「課題達成型」への転換を掲げて設定	政策課題対応型研究開発における重点化 ・重点推進4分野 ・推進4分野 ・上記8分野で「分野別推進戦略」を策定 ・戦略重点科学技術を設定し、選択と集中 ・国家基幹技術	科学技術の戦略的重点化 ・基礎研究の推進 ・重点分野4分野＋その他4分野を設定
設定された分野等	【第2章】 (3)「超スマート社会」における競争力向上と基盤技術の強化 基盤技術の戦略的強化 i)超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術 ii)新たな価値創出のコアとなる強みを有する基盤技術 【第3章】 (1)持続的な成長と地域社会の自律的な発展 エネルギー、資源、食料の安定的な確保)エネルギーの安定的な確保とエネルギー利用の効率化)資源の安定的な確保と循環的な利用)食料の安定的な確保 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現)世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成)持続可能な都市及び地域のための社会基盤の実現)効率的・効果的なインフラの長寿命化への対策 ものづくり・コトづくりの競争力向上 (2)国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現 自然災害への対応 食品安全、生活環境、労働衛生等の確保 サイバーセキュリティの確保 国家安全保障上の諸課題への対応 (3)地球規模課題への対応と世界の発展への貢献 地球規模の気候変動への対応 生物多様性への対応 (4)国家戦略上重要なフロンティアの開拓	震災からの復興、再生の実現)被災地の産業の復興、再生)社会インフラの復旧、再生)被災地における安全な生活の実現 グリーンイノベーションの推進)安定的なエネルギー供給と低炭素化の実現)エネルギー利用の効率化・スマート化)社会インフラのグリーン化 ライフイノベーションの推進)革新的な予防法の開発)新しい早期診断法の開発)安全で有効性の高い治療の実現、)高齢者、障害者、患者の生活の質（QOL）の向上	重点推進4分野 ライフサイエンス分野 情報通信分野 環境分野 ナノテクノロジー・材料分野 推進4分野 エネルギー分野 製造技術分野 社会基盤分野 フロンティア分野 国家基幹技術 次世代スーパーコンピュータ技術、宇宙輸送システム技術など	重点分野4分野 ライフサイエンス分野 情報通信分野 環境分野 ナノテクノロジー・材料分野 その他4分野 エネルギー分野 製造技術分野 社会基盤分野 フロンティア分野

第1期（FY1996-2000）は設定の考え方、設定された分野について記載なし

戦略的な研究開発分野の比較（各省の関係報告書等）

報告書	総務省 Beyond 5G 推進戦略 (2020年6月)	総務省情報通信審議会情報通信技術分科会 技術戦略委員会第四次中間答申 (2020年8月)
設定の 考え方	2030年代に期待されるInclusive、Sustainable、Dependableな社会を目指したSociety 5.0実現のための取組。 Society 5.0からバックキャストして行うコロナに対する緊急対応策かつコロナ後の成長戦略を見据えた対応策。	・ Society5.0の早期実現に向けた次世代のICT基盤に必要不可欠な先端技術等の観点から、戦略的に推進すべき研究領域を特定 ・ 近年の社会情勢・ニーズ・技術動向等を踏まえ、国が主導して推進すべき重点研究開発課題を特定 ・ 宇宙基本計画など政府の重要政策に鑑み、宇宙分野等の我が国の経済成長や産業基盤の強化に資する取組を推進
設定された 分野等	2030年代の社会像 ・ Inclusive：あらゆる場所で、都市と地方、国境、年齢、障碍の有無といった様々な壁・差違を取り除き、誰もが活躍できる社会 ・ Sustainable：社会的なロスがない、便利で持続的に成長する社会 ・ Dependable：不測の事態が発生しても、安心・安全が確保され、信頼の絆が揺るがない人間中心の社会 Beyond 5Gに求められる機能等 超高速・大容量、超低遅延、超多数同時接続、超低消費電力、超安全・信頼性、自律性、拡張性 我が国が強みを持つ又は積極的に取り組んでいるものが含まれる分野の例 テラヘルツ波、時空間同期（サイバー空間を含む）、センシング、オール光ネットワーク、低消費電力半導体、量子暗号、完全仮想化、HAPS活用、インクルーシブインターフェース	戦略的に進めるべき研究4領域 ・ AI（脳情報通信、データ利活用） ・ Beyond 5Gの実現 ・ 量子情報通信 ・ サイバーセキュリティ 5つの重点研究開発分野 ・ 社会を観る：電磁波先進技術分野 ・ 社会を繋ぐ：革新的ネットワーク分野 ・ 社会（価値）を創る：ユニバーサルコミュニケーション分野 ・ 社会（生命・財産・情報）を守る：サイバーフィジカルレジリエンス分野 ・ 未来を拓く：フロンティアサイエンス分野

戦略的な研究開発分野の比較（各省の関係報告書等）

報告書

文部科学省科学技術・学術審議会総合政策特別委員会 知識集約型の価値創造に向けた科学技術イノベーション政策の展開 - Society 5.0の実現で世界をリードする国へ - （最終とりまとめ）（令和2年3月26日）

設定の考え方

研究開発の戦略的な推進（第8章）～日本らしさで世界を変える～ において、戦略的に推進すべき研究開発領域を提示。

設定された分野等

重点的に取り組むべき研究開発領域を定めるための方針	重点的に取り組むべき研究開発領域	具体的な研究開発の例
（方針1）サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合が進む中で、「超」高精度、高品質、高性能で複雑なすり合わせが必要なフィジカル技術や現場のリアルデータを持つ強みを発揮し、バリューチェーンの中核を押さえる。	高品質なリアルデータやリアルタイム処理を生かしたデータ駆動型価値創造のための研究開発	AI、センサ、データのトレーサビリティ、システムデザイン（XaaS、ブロックチェーン活用等）、データ基盤、高効率計算基盤、次世代通信（6G等）、サイバーセキュリティ、低消費電力デバイス、情報工学基盤（OS、プログラミング、コンピューティング、アーキテクチャ、ハードウェア等）等
	我が国の強みであるマテリアル創成技術や超微細・精密制御を駆使したものづくり技術によりバリューチェーンの中核を押さえるための研究開発	高機能材料創成、革新的触媒、革新的素子・デバイス、センサ、ロボティクス、アクチュエーション、接着・接合、分離・分解、微細加工、シミュレーション（高効率設計、デジタルツイン等）、先端計測、プロセス技術等
	健康寿命延伸・生活の質（QoL: Quality of Life）向上のための研究開発	生体センサ、ライフログ、疾病予防、個別化医療、先端医療（ゲノム医療、再生医療等）、感染症、認知・睡眠機能等、身体機能補助、生体材料等
	都市と地方が共生するまちづくりのための研究開発	スマートモビリティ（自動運転、次世代航空（ドローン等）、交通マネジメントシステム等）、スマートインフラ（構造材料、維持管理技術、劣化制御等）、スマート製造・スマート農林水産業（ロボティクス、リモートセンシング、次世代育種等）、社会システムデザイン等
	脱炭素社会の実現のための研究開発	再生エネ・蓄エネ・省エネ（再生可能エネルギー、エネルギーハーベスト、蓄電池、水素製造・利用、パワエレ、高度なエネルギーマネジメントシステム等）、カーボンリサイクル（CCUS）、グリーンモビリティ等
	持続可能な地球環境の構築のための研究開発	環境観測・モニタリング・影響把握（衛星、航空機、船舶、地上観測網等）、データ統合・解析基盤、シミュレーション（気候変動予測等）、社会システムデザイン、資源循環（設計・製造、分離・回収、生分解性材料等）等
	（方針3）将来の産業や社会を一変させる可能性のある最先端の新興技術（エマージングテクノロジー）を追求し、先行者利益の獲得や国際競争力の確保を目指す。	量子コンピュータ・量子シミュレーション、量子計測・センシング、量子通信・暗号、量子マテリアル（量子物性・材料）、基礎基盤的な研究、量子ビーム施設・設備の高度化
	生命の高度な理解と自在制御を可能とする次世代バイオテクノロジー	遺伝子制御、合成生物学、脳科学、生命現象の時空間解明、高機能バイオ生産（微生物、植物等）、バイオ材料（バイオインスパイアード材料、バイオインターフェイス材料、ソフト材料等）、生物資源等
	現在の深層学習の課題を解決する次世代AI	高信頼性AI、自律AI、AIチップ、非ノイマン型コンピューティング（ニューロモーフィック、量子等）、エッジコンピューティング等
	最先端技術に革新をもたらすマテリアルテクノロジー	次世代型元素戦略（元素の新機能創出等）、分子技術・空間空隙制御技術、多元化・複合化材料、マテリアル・インフォマティクス、先端技術革新材料（マテリアル×AI・IoT、量子、バイオ等）等
（方針4）日本の持つ地理的・地政学的状況も見定めた国家存立の基幹的な機能を確保・向上する。	インクルーシブ社会を実現する人間・社会拡張技術	AI×ロボティクス、アクチュエーション、ブレイン・マシン・インターフェイス、テレグジスタンス、意志決定支援、人間行動・社会動態理解等
	災害レジリエンスの強化による防災立国の実現のための研究開発	観測、災害現象の解明・予測、減災、リアルタイムシミュレーション、防災システムインテグレーション、災害時の応急対応、復旧・復興等
	エネルギーセキュリティの確保のための研究開発	革新的原子力技術（高温ガス炉等）、核融合等
	宇宙・航空技術	推進技術、宇宙輸送システム、衛星技術、次世代航空（ドローン、電動推進等）、宇宙探査、有人宇宙技術、極限性能材料等
	海洋技術	海洋探査（AUV、ジャイロセンサ、海中通信等）、海洋・極地観測（気象気候予測、無人省力化観測等）、海洋ビッグデータ、極限性能材料等

戦略的な研究開発分野の比較（各省の関係報告書等）

報告書	農林水産省 農林水産研究イノベーション戦略2020 (2020年5月)	経済産業省産業構造審議会産業技術環境分科会 研究開発・イノベーション小委員会 産業技術ビジョン2020 (令和2年5月29日)
設定の 考え方	科学技術の力を活用することにより、我が国の豊かな食と環境を守り発展させ、農林水産業の国際競争力の強化につなげていくことが必要。このため、農林水産研究のうち、特に、農林水産業以外の多様な分野との連携を強めることによりイノベーション創出が期待できる分野を対象として、戦略を策定。	世界の変化、日本の課題、2050年の産業技術の方向性、2025年までに実現すべきこと等を提示。
設定された分野等	我が国の現状と課題 ・担い手が減少・高齢化し、労働力不足が深刻化。 ・近年の気候変動により自然災害の頻度が高まるおそれ。 ・世界の食料需要の増加への対応が必要。 イノベーション創出が期待できる分野 スマート農業 ・労働力不足の解消に向けたスマート農業実証 ・新サービスのビジネスモデルの確立 ・農機の完全自動化・無人化システム ・ムリ・ムダのないスマートフードチェーン 等 環境 ・地産地消型エネルギーシステム ・農地・森林・海洋における炭素の隔離・貯留 ・気候変動適応技術の開発 等 バイオ ・腸内細菌叢及び代謝物の機能解明 ・データ駆動型スマート育種 ・生物機能を活用した新素材、動物医薬品等の開発 等	<2050年5つの潮流> 世界人口のピークアウト、SDGs、サーキュラーエコノミー、デジタル経済、地政学的・保護主義的リスク、レジリエンス強化 <世界の動向・ことの本质> ・知的資本主義経済に移行する米国・中国、価値軸の転換を図る欧州 ・日本は、グローバルな環境変化と技術の進展に対応できておらず、強い慣性力。個人より組織を重んじる慣行か？ <対応の方向性> ・中長期的に目指す姿：知的資本主義経済への移行×持続可能な人類共有資源（コモンズ）の実現 ・2025年に向けた対応の方向性 レイヤー1：「個」の開放によるイノベーション力の強化[基盤づくり] レイヤー2：技術シーズを競争力につなげる研究開発・ビジネス戦略の重視[技術至上主義からの脱却] レイヤー3：知的資本主義経済を見据えたR&D投資の重点化[リソースの戦略的集中]  <R&D投資を戦略的に集中すべき分野> A) Society5.0を実現するIntelligence of Thingsとそれらを支えるデジタルテクノロジー A-1) Intelligence of Things・人間拡張を支えるロボティクス、センシング、XR、ブレイン・マシン・インターフェース、機械翻訳等 A-2) ポストムーア時代の次世代コンピューティング技術 B) バイオテクノロジー C) マテリアルテクノロジー D) エネルギー・環境

戦略的な研究開発分野の比較（産業界からの提案）

報告書	経団連 Society5.0 - ともに創造する未来 - (2018年11月13日)	COCN 第6期科学技術基本計画に向けた提言 (2019年2月15日)
設定の 考え方	社会を変える基盤である「技術」の開発に国として十分なリソースを投入すべき。その際、「選択と集中」から「戦略と創発」への転換が必要。	日本にとって最上位の社会課題である「少子高齢化への対応」と「社会のサステナビリティ」を目指し、「推進テーマ活動」を通して、実現したい7つの社会像を設定。
設定された 分野等	< 戦略的研究 > 国家的課題の解決を目標とした研究 (以下、想定される領域) エネルギーや関連するインフラ技術、モビリティ、超高速通信 農林水産業、食に関する産業の革新 ヘルスケア(医療・健康・介護)の革新 AIによる科学的発見やエンジニアリング能力の飛躍的拡大 インクルージョンの実現と人間の能力拡張(身体、感覚、創造性など) 持続可能な分散型コミュニティ実現技術 ムーンショット型研究 多様な目標設定が可能。国家的課題についても、極めて野心的な目標と戦略を打ち出す場合にはムーンショット型となる。 < 創発的研究 > 最も破壊的イノベーションを生み出し得る領域。特定の課題や短期的な目標設定は行わない。多様性と連動性の拡大により、想定外の研究成果が生まれてくることを期待する。	実現したい7つの社会像 サステナブルなエネルギーシステム 健康で生き生きとした暮らしを守る 人が主役のサステナブルなものづくり 国際競争力ある食の第6次産業化 地域における新たな暮らしの基盤 ストレスフリーなモビリティ インフラの維持とレジリエンスの強化 7つの社会像を実現するために必要な技術や環境 データ駆動型社会の構築に必要な社会環境の基盤パーソナルデータとプライバシー保護、サイバーセキュリティとサプライチェーンのトラスト基盤、AIを活用する環境の整備などが必要。 データ・システム連携の基盤新事業・新サービスにつながる公的データの公開を優先。データの健全な利活用のしくみ、民間がデータを提供しやすくする仕組みを整備する。 データクリエーションと要素技術の基盤技術とシステムにおいて我が国の強みを活かしつつ対象のエリアを絞った中長期の戦略を描き、応用分野での「課題解決ジャパンモデル」を発信する。